

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第4回登米市地域公共交通会議
開催日時	令和7年3月6日（木）午前10時00分～午前11時00分
開催場所	迫公民館 2階 大会議室
議長の氏名	徳永 幸之
出席委員の氏名	1. 徳永 幸之 委員 2. 関澤 京子 委員 3. 大友 哲 委員 4. 高山 進一 委員 6. 金澤 慧太 委員 7. 佐藤 靖 委員 9. 鈴木 香 委員 11. 菊田 秀人 委員（代理：(株)ミヤコーバス佐沼営業所長 橘 正二） 12. 佐々木 優 委員 13. 佐藤 博和 委員 15. 穴戸 敬吾 委員 16. 武田 勝博 委員 17. 池田 秀明 委員 18. 佐藤 健一 委員 19. 菅原 正広 委員 20. 佐々木 昭彦 委員 21. 鈴木 清美 委員（代理：長寿介護課長補佐兼係長 佐々木 恵里） 22. 猪股 勝徳 委員
欠席委員の氏名	5. 高橋 浩昭 委員 8. 加賀谷 亮 委員 10. 皆川 栄幸 委員 14. 宮城県交通運輸産業労働組合協議会
事務局職員氏名	千葉 克巳 （市民協働課長） 高橋 和広 （市民協働課長補佐兼地域交通・交流係長） 相澤 智美 （市民協働課地域交通・交流係主査） 齋藤 晴香 （市民協働課地域交通・交流係主事）
議題	協議（1）高校新入学生への市民バス無料お試し乗車の実施について （2）登米市地域公共交通計画（案）について
会議結果	（1）原案のとおり承認 （2）継続審議
会議資料	別紙のとおり
発 言 者	議題・発言・結果
	1 開会 2 会長挨拶
事務局	設置要綱第6条及び第5条第3項の規定により、副会長が議長となり議事を進行することを説明
議長	3. 協議 それでは、（1）高校新入学生への市民バス無料お試し乗車の実施について、事務局から説明をお願いする。
事務局	（資料に基づき説明）

議長	質疑やご意見はあるか。 (無し)
議長	無いようなので、このとおり進めるということでお願いします。 続いて(2)登米市地域公共交通計画(案)について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
議長	質疑やご意見はあるか。
議長	指標について、非常に高い目標となっている。 利用者数について、将来人口が減っていくという中で、現状より増やすという目標で大丈夫か。指標2の高校生の利用回数は現状維持であり、齟齬がある。利用者数を指標にしても良いが、人口当たりの利用回数もおさえていく必要がある。 またキャッシュレス決済については、利便性だけでなくデータの活用の方がむしろメリットとして大きいと考える。現在の手持ちデータの活用もしていなければならない。そのあたりも記載できるとよい。
事務局	目標設定について、ご意見を踏まえて検討する。 キャッシュレス決済については、データの活用のメリットについても記載したい。
議長	施策⑤-1のタイトルが、内容と合っていないように思う。「公共交通の“導入”」というより「“検討”」の方が適切では。
事務局	ご指摘のとおりであると考えます。修正を検討する。
委員	施策⑦-1に「宮城県ローカル線活性化協議会」とあるが、「検討会議」の誤りである。また、県だけでなく、「県や沿線自治体と連携した取組を検討する」というような内容にしていただけるとよい。
事務局	会の名称誤りについて調査不足であり、申し訳ない。修正する。 沿線自治体との連携についての記載の追加も検討する。
委員	②-1について、住民バスはスクールバスと連動した運行と認識している

	が、どちらが主体か、明確にした方が良い。 住民バスだけでなくデマンドにも輸送効率のデータ化について記載してほしい。地域内の移動の総動員として、福祉輸送の役割も記載しては。
委員	スクールバスを基本として考えていただきたい。
議長	ほかの市町村を見てもスクールバスが大きな出費となっていて、もったいないと感じている。
議長	ほかに質疑やご意見はあるか。 (無し)
議長	それでは、事務局にお戻しする
事務局	以上で令和6年度第4回登米市地域公共交通会議を終了する。 (閉会)